

ベストミックスの構築に向けた施策展開の推進

- ・利用者の増加に繋げるための様々な取組（機能強化策、利用促進策）を展開
- ・また、地域特性に応じて多様な交通モードを効率的に組み合わせ、利便性の高い公共交通ネットワークを構築
- ・公共交通サービス水準を維持し、市民の移動手段を確保するため、引続き公共交通機関相互の役割分担と連携強化による「総合的な交通戦略」を推進

基幹公共交通の機能強化

基幹公共交通となる鉄道・軌道・幹線バスの定時性・速達性・輸送力の向上にむけ、各公共交通機関の特性に応じた機能強化を図る

事業(2)乗換拠点の整備

- ・交通結節機能強化検討（上熊本、水前寺）
- ・バス停ベンチ設置（待合環境整備）
- ・平成駅前駐輪場改修の検討



▲ バス停ベンチ設置

事業(4-2)公共車両等の走行環境の改善

- ・長嶺方面におけるボトルネック交差点改良等の検討

事業(5)バス・鉄軌道等の輸送力の向上

- ・多両編成車両の導入（市電）
- ・JR南熊本駅と中心市街地を結ぶ快速バスの実証実験



▲多両編成車両のイメージ

公共交通の利用促進

行政・事業者等による公共交通の利用環境改善を進めるとともに、住民等の担い手としての意識醸成など利用促進に向けた啓発

事業(17)電停のバリアフリー化（電停改良）

- ・味噌天神電停の詳細設計

事業(19)交通事業者等と連携した利用促進

- ・公共交通利用促進キャンペーンの実施
- ・まちなかフリーパスの実証実験
- ・民間事業者の自由な発想による利用促進策が行えるよう新たな補助金の創設



▲ まちなかフリーパス

コミュニティ交通の導入

日常生活に必要な移動手段の確保や利便性向上を図るため、多様な運行形態によるコミュニティ交通を導入

事業(12)公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入

- ・公共交通空白地域等におけるAIデマンドタクシーや乗合タクシーの運行
- ・将来の路線バス網を踏まえたコミュニティ交通の導入基準・サービス水準の策定
- ※サービスとコスト等の比較検証を行うシミュレーションを実施



▲ AIデマンドタクシー

バス路線網の再編

バス事業者が連携して路線網の再編をすすめ、利用者のニーズに沿った利便性の高い持続可能なバス路線を実現

事業(9)共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築

- ・定時性の向上に向けたダイヤ改正
- ・バスの利用促進に向けた取組（利用者属性に応じた取組）
- ・路線バスのデータ公表

事業(11)輸送資源を活用した交通体系の効率化

- ・地域の実情（輸送需要等）に合わせた交通手段の見直し検討（路線バスからA I デマンド等への転換）

新技術を活用した移動手段の検討

新技術を活用することで、移動手段の確保やマイカーから公共交通への転換を図る

事業(23)自動運転技術の導入検討

- ・自動運転を目指した運転支援レベル2でのバスの実証実験を継続（自動運転レベル4の社会実装に向けた検証）